

うるおい



第221号

編集・発行 ケアハウス 清水苑
 福井県福井市大森町第7号1番地
 TEL (0776) 98 - 5790
 FAX (0776) 98 - 5780
<http://www.shimizu-en.info>
 E-mail : info@shimizu-en.info

題字は:キッチンスタッフ 戸田チツです

平成30年度

事業計画を振り返って

| 30年度 | | | 30年度 | | |
|-------------|-------------------|------------|----------------|------------------|---------------|
| 課題 | テーマ開設 | 手順等 | 課題 | テーマ開設 | 手順等 |
| ① スタッフ雇用 育成 | 職場環境 コミュニケーション | 時代制 発想 | ⑥ 安全報告書 | 有終老後 | キーワード浸透 |
| ② うるおいブランド | チョイス・ケアハウス | チョイス・清水苑 | ⑦ 老朽化対策 | 優先順位 | 費用対効果 予算算出 |
| ③ 良食 | 検証 | 検証カレンダー 朝会 | ⑧ 朝会ゼミナール | 全人性開発 | 意識改革 |
| ④ 地域活動 | 地域配食向上 (質・数・声) | 継続性 普及 | ⑨ 施設改革 | 特定居室 | コーディネイター |
| ⑤ 人生ターミナル | うるおitrunk | インデビュアル | ⑩ ケアハウス清水苑20周年 | フルページ フルカラー広報 | PR活動計画 |

① スタッフ雇用 育成

- ・ 職場環境改善実施(パート雇用者の支給手当の見直し等)。
- ・ コミュニケーションをはかる為に定期ミーティングの実施。

課題

雇用に対して希望者が少なかった。
 雇用募集(媒体の活用等)について検討が必要であった。
 雇用者の高齢化に対するの募集対策。

⑥ 安全報告書

- ・ 巡回日録や宿日直日誌等(日誌記録)による報告の徹底に努める。
- ・ 定例懇談会 家族懇談会 の開催により利用者の声の検証を行う。
- * 実施報告資料
 - ・ うるおい211号裏面の安全報告書
 - ・ うるおい219号表面の定例懇談会～利用者の声&ご家族の声～

課題

災害や防犯に対するの訓練の強化実施。
 個別カルテによる個人記録。

② うるおいブランド

- ・ 選ばれる施設作り → 広報P・R活動と各関係機関への情報共有。
- ・ HPリニューアル以降、清水苑独自の取組みを掲載している。
 結果…満床継続と待機者確保に繋がる事が出来た。

課題

退去予備者に対して待機者の確保が急務である。

⑦ 老朽化対策

- ・ 夏場に館内のエアコン(冷房)の調子が悪く室外機の修理を実施。
- ・ 自動ドアの改修工事
- ・ 細かい修繕として(壁紙、水道管、脱衣所の鍵等)。

課題

定期的(年1回や2回)に館内清掃を業者へ依頼すると良い。

③ 良食

- ・ 食堂・食卓10カ條を改めて検証する事により食堂環境の整備に努める。
 (うるおい第215号 施設長の呟き#108でも取り上げる)
- ・ 検査の記録からの改善、献立内容や調理工程の見直し改善の実施。

課題

食メニュー検討会、利用者嗜好調査の取組みによる質の向上。

⑧ 朝会ゼミナール

- ・ 検証カレンダーにそって遂行し、G・S(ゼネラルスタッフ)の教育、成長の会として行えた。又、会を通じて施設全体を把握する事が出来た。

課題

G・Sが朝会に揃って参加出来るよう検討していく。

④ 地域活動(地域配食活動)

- ・ 継続実施より地域に根付き、配食利用者が増えた。安否確認も含めた活動は地域支援の一貫としてこれかも重要視していく。

課題

配食数増加に伴う、人的や物的の問題と施設としての方向性の明確化。
 様々なニーズ(治療食等)への対応。
 料金の適正化への対応。

⑨ 施設改革

- ・ 特定居室の申請より床数が明確化していない。
- ・ 特定居室を取り入れる事による収支差(シミュレーション)が出来なかった。

課題

床数の明確化より具体的思案により進めていく。

⑤ 人生ターミナル

- ・ うるおitrunkの整備…管理栄養士を中心に5年物の水等を購入。

課題

入れ替えや管理に対して後手(行き届かない)にならないよう取り組む。
 備蓄品に対して時代と共に見直しを検討していく事。

⑩ ケアハウス20周年

- ・ フルページ フルカラー の広報の実施と明記したが予算の兼ね合いより実施せず。

課題

常に広報活動の取り組みとして検討を行う。

シリーズ 第125回 皆様への問いかけ

★ 人手不足の深刻化

最近よくTVで見ますが人手不足に陥っている業界や企業も次第に増えていて深刻な問題になっています。一人当たりの仕事量が多すぎて、報酬に見合わない…人が少ないと一人が抱える仕事の量も増え体を壊したり、責任が重すぎる…などの理由で離職する確率が高くなるようです。それは介護業界も同じです。医療費や介護費で国が費用削減を行っていけば、どんどん給料は安くなります。企業と違い売上云々では無く、入ってくる収入は決まっていますから経営する側も大変です。働く側にすると、一人一人の負荷はあがっているのに、給料や休みが取りやすい、待遇環境など目に見える形で見えてこなければ、よりモチベーションも下がってしまいます。

外国人雇用も一部取り入れているなど聞きますが、言語・価値観の違いで8割以上が苦戦しているようです。今後ますます人手不足が強くなる中、皆さんの所はどうでしょうか。

(Y. F)



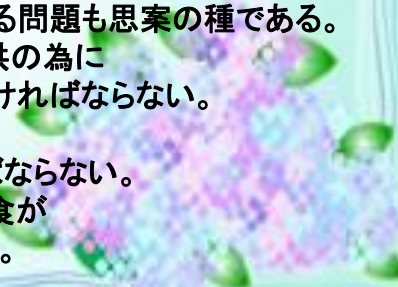
施設長の呟き #114

* 地域貢献(地域配食)のバランスについて

配食数 = 各種経費

配食数 = 多種多様なニーズ対応

地域配食の利用はとても喜ばしい事ではあるが、数が増える事によって生じる問題も思案の種である。美味しい健康食の継続提供の為にスタッフ皆で改善に努めなければならない。様々な改定も急務であり、利用者のご理解も得らねばならない。この繰り返しにより地域配食がさらに根付く事を期待しよう。



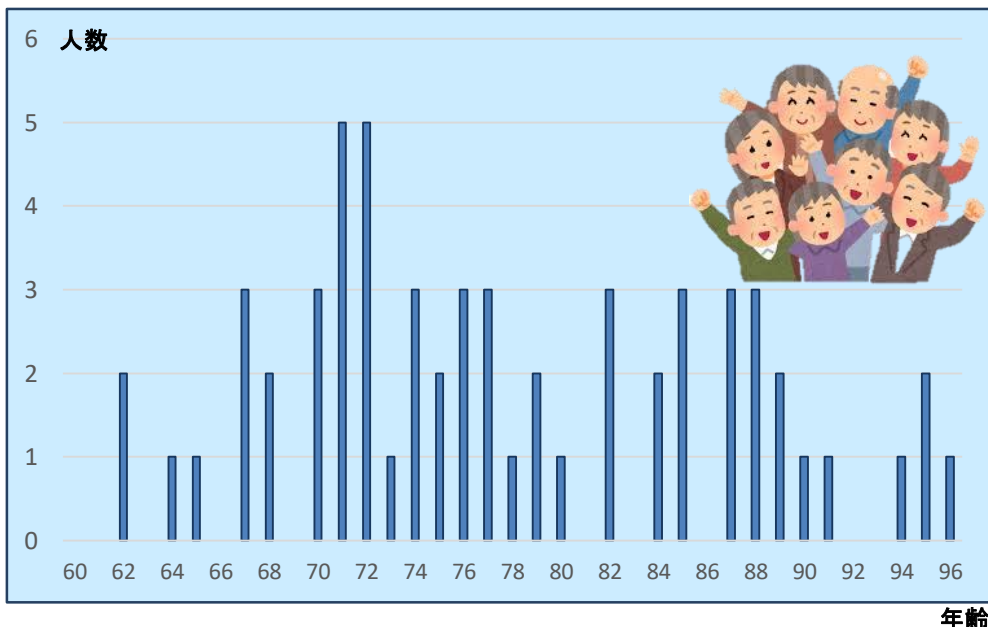
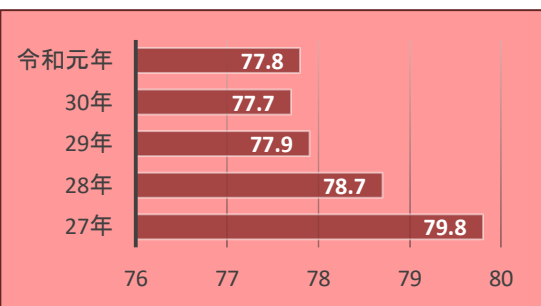
令和元年 利用者分布

年齢分布(令和元年6月1日現在)

入居者60名 男性 18名 女性 42名

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 60代 | 9名 | 80代 | 17名 |
| 70代 | 28名 | 90代 | 6名 |

平均年齢推移



要介護者分布 (令和元年6月1日現在)

| | | | |
|-----|---|-----|----|
| 支援1 | 5 | 支援2 | 7 |
| 介護1 | 5 | 介護2 | 6 |
| 介護3 | 2 | 介護4 | 2 |
| 介護5 | 1 | 計 | 28 |

要介護者数推移

